

こんにちは

会社訪問記

現場のニーズに合った高品質製品を提供し、建設機械市場をリードします。

中部キャタピラー三菱建機販売株式会社

(愛知県安城市)



社名/中部キャタピラー三菱建機販売株式会社

所在地/愛知県安城市今本町東向山7-41

代表者/土屋弘弘 設立/昭和62年 従業員/450名

TEL / 0566(98)1112 事業所/本社、7支店、22営業所

事業内容/新キャタピラー三菱のブルドーザ、油圧ショベルなど建設機械、これに関連するブレーカ、コンプレッサーなどのアタッチメントの販売。土木積載用のコンピュータ、これに関連するソフトウェアの販売。

ブルドーザ、油圧ショベル、ホイールローダなど世界最高の水準を誇る新キャタピラー三菱の建設機械を販売する中部キャタピラー三菱建機販売株式会社に伺い、池谷業務部総務課長、木村環境施設担当課長のお二人にお話をお聞きました。

— 貴社の設立は何年ですか。

池谷業務部総務課長 (以下池谷に略)『当社は、米国キャタピラー社と三菱重工業の合弁企業である新キャタピラー三菱株式会社の東海支社が分離独立し、昭和62年に設立されました。』



池谷業務部総務課長

— モットーや社風についてお聞かせください。

池谷『モットーは“お客様を大切に、共存共栄を図る”です。当社は徹底したお客様中心主義と、年功序列にこだわらない実力第一主義を貫き事業運営に取り組んでいます。実力次第でどんどんステップアップできますから、社内は常に活気があり明るいムードでいっぱいです。』

— 事業エリアは愛知県下のみですか。

池谷『愛知、岐阜、三重の三県下を事業エリアに7支店、22営業所があります。』

— では話題を変えて、貴社から出る産業廃棄物は主に何がありますか。

木村環境施設担当課長 (以下木村に略)『産業廃棄物としては燃え殻、汚泥、廃油、そして廃プラスチック類などが主なものです。これらの処理はマニフェストにより、適正な処理に努めています。』

— マニフェストのお話が出ましたが、使用状況はいかがですか。

木村『マニフェストは制度の導入当初から活用してきました。もちろん、マニフェストを使用して

いるだけで排出事業者の責務を果たしているとは全く考えておりません。マニフェストに記載されている通りに当社の産業廃棄物が正しく処理されているかを、委託業者の施設を定期的に見学させて頂き、処理や処分場の運営状況などに問題がないか確認することも忘れてはいません。』

— 貴社で実施されている環境保全対策にはどのようなものがありますか。

木村『日常・週間・月間の点検管理実施の他、3ヵ月に一度、放流水の水質検査、週一回はCODとBODの検査を行い、毎年6月には廃棄物の溶出検査も実施しています。また、当社では社内環境・公害管理が組織化されており、公害発生を未然に防ぐチェック体制は実にシビアです。薬品類や油類の適正管理、産業廃棄物の分別保管と減量化、そしてリサイクルなど徹底して行っていますね。』

— では最後に、貴社の現在取扱っている製品で話題の機種があれば教えてください。

池谷『履帯部にゴムを採用した三菱のブルドーザが、いま人気機種です。これは従来の鉄クロラと違いゴム製ですから、作業時や移動時の騒音と振動がかなり軽減できます。また、道路を傷めないののお客様に大変御好評いただいています。環境保全に関心が高い時代のニーズから生まれた製品といえますね。』



製品群